

## 1 学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒
- 心豊かな生徒
- たくましい生徒

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な学習内容を重視し、確かな学力を身に付けさせる学校</li> <li>○よりよい社会を創造する主権者としての知識・資質・豊かな心を身につけられる学校</li> <li>○学校情報を適宜発信し、保護者・地域の人々と協働しながら教育を推進していく学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学ぶ意欲と向上心を持ち、生涯にわたって前向きに生きようとする生徒</li> <li>○思いやりの心、命を大切に作る心、規範意識、連帯感、自己肯定感、平和を愛する心など豊かな心を持った生徒</li> <li>○基本的な生活習慣を身に付け、健康でたくましく生きようと実践する生徒</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒個々の能力を把握し、生徒の学力を向上させ、豊かな心をはぐくんでいく教師</li> <li>○教育公務員として使命と責任を自覚して、情熱を持って職務に努める教師</li> <li>○「地域にある学校」を意識し、地域や保護者と積極的に関わる教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 〈学校〉

現状：創立時に掲げられた「礼儀正しくしよう」「学校をきれいにしよう」の実践に努めている。

学校行事や学年行事には、全生徒が真剣に取り組んでいる。

成果：学力向上に向けて、補充教室を工夫・充実させることができた。授業改善に取り組んでいる。

生活指導面では落ち着いてきている。

課題：①基礎学力の定着と向上。

②生徒を生かし、伸ばす指導の充実。

### 〈生徒〉

現状：純朴で明るい。美化活動やボランティア活動、部活動によく取り組んでいる。全体として、授業に臨む姿勢も改善されてきた。

成果：「伊興中でよかった」という生徒が80%以上。落ち着いた授業が展開でき、生徒間のトラブルも減少してきた。

課題：①学習の必要性を認識して、基礎学力の定着・向上に努めること。

②家庭学習の習慣化。

②凡事徹底

〈教師〉

現状：若手教師が多くおり、活気がある。生徒に寄り添って指導している姿が多く見られる。

成果：区の研修や小中連携研修、成果発表授業、授業見学週間、道徳研究授業の取り組み等によって、学習指導力の向上への意識が上がってきた。

課題：①生徒が楽しく、意欲的に受け取れる授業力の向上。

②生活指導力の向上。

〈保護者・地域〉

現状：保護者（PTA・おやじの会）や地域の方々は、創立以来本校に愛着を感じていただき、協力・支援体制が強い。地域の行事等に教師や生徒を招いていただき、生徒に活動の場を与えていただいている。また、開かれた学校づくり協議会委員の方には、全面的に協力していただいている。

成果：PTAの活動が活発に行われている。PTAと開かれた学校づくり協議会とが連携している。おやじの会の活動もより活発に活動しており、学校の協力者である。

課題：①学校、PTA、開かれた学校づくり協議会との連携を図り、地域に根ざした学校をつくる。

②保護者の皆様に、学校に足を運んでいただけるような教育活動を展開していく。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R21	R3	R4
1	基礎学力の定着と向上	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成と基本的な生活習慣の確立	○	○	○	○	○
3	教師の指導力向上と信頼される学校作り			○	○	○

## 5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1		基礎学力の定着と向上 アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
生徒の学習意欲を高めるとともに、基礎・基本を確実に身に付けさせ、学力向上を図る		年度末到達度確認テスト正答率	60%	自己評価の際に記入					
		令和3年度区調査通過率	56%						
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●

1 継続	放課後補充学習	全学年 評定が2 から下の 生徒 数学・英語	月・火・ 木・金曜日 放課後2 5分 教科は2 週間ごと に交代	【指導体制】教科担任、学年所属教員 【取り組みのねらい・目的】月曜日に全生徒に対してテストを行い、基準をクリアできない生徒に対して火・木・金で補充を実施する。次の月曜日にその生徒に対してテストを行い、基準をクリアできない生徒に対してその週補充を行い、金曜日を確認テストを行う。 【使用教材】プリント教材	始め、中間日、最終日のテスト	2週目の終わりにテストを行い、生徒の80%が目標値を通過する。	<b>自己評価の際に記入</b>
2 継続	定期テスト前質問教室	全学年 全教科	定期考査の一週間前、各教科で希望生徒を対象に60分程度で質問教室を行う。	【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・目的】定期考査の一週間前から、希望する生徒を対象に補習を行い、学力の向上を図る。 【使用教材】プリント教材	定期考査	定期考査において、各教科の目標値を達成する。	
3 継続・改善	家庭学習	全生徒 全教科	毎日（土、日も含む）	【取り組みのねらい・目的】一斉登校再開後を家庭学習習慣強化週間と捉え、放課後補充教室において家庭学習の方法・ノート書き方を各教科担任がクラスごとに指導・実践させる。習慣化を図り、基礎学力の定着・向上を図る。また、学習ノートの優秀なものを展示・表彰する。 【使用教材】教科書・プリント	毎日提出、担任が確認を行う。	未提出者に対しては、担任を中心に個別指導を行う。	

4 新規	朝自習	全生徒 読解力の向上	毎日 登校後8時20分～35分までの15分間	【指導体制】学級担任 【取り組みのねらい・目的】「正しく読む」ために必要な7つの力をつけるドリルに取り組む。さらに、問題終了後は読解力をつけさせるために自分で選んだ本の読書を行わせる。 【使用教材】プリント教材、本	毎日の点検	学期ごとに7つの力について結果を分析し、各教科で読解力の向上に結び付く、効果的内容を考えていく。	<b>自己評価の際に記入</b>
5 継続・改善	コンテスト	全生徒 数学・英語	長期休業明け2回など	【指導体制】教科担任、学年所属教員 【取り組みのねらい・目的】基礎的な内容の習得。補充・補習教室とリンクさせ、個別指導を取り入れ、定着を図る。 【使用教材】プリント	実施日にテスト	課題の8割以上正解する生徒が80%以上。補充実施。	
6 新規・継続	少人数授業	全生徒 数学・英語	数学・英語のすべての学年で実施	【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・目的】基礎的な内容の習得。 【使用教材】教科書・プリント等	授業観察	授業アンケートにおいて「教え方や説明がわかりやすかった」と答える生徒が80%以上	

<b>重点的な取組事項－2</b>		豊かな心の育成と基本的な生活習慣の確立					
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
生徒自らよりよい学校づくりに参画し、いじめのない「笑顔あふれる学校」「学校に登校するのが楽しいと思える学校」をつくる		アンケートで「伊興中の生徒でよかったと思う」と80%以上の生徒が回答する		<b>自己申告の際に記入</b>			
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>							
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>

人権への配慮と豊かな心の育成	「他の人を尊重し、いじめのない学校生活を送っている」と、生徒の80%以上が回答する	思いやりの心、命を大切にする心、規範意識、連帯感、自己肯定感、平和を愛する心を、道徳の授業をはじめ「心の教育」「人権について考える教育」など全教育活動で育む。	<b>自己申告の際に記入</b>
生徒を生かし、伸ばす指導	アンケートで、学校生活に前向きな回答をする生徒が80%以上	キャリア教育を計画的に実施し個性の伸長に努める。教員が日常の生徒の様子に気を配り、情報共有に努める。様々な場面で生徒に役割、活躍の場を与え活動させる。	
凡事徹底	アンケートで、ルールや挨拶等について80%以上の生徒が前向きな回答をする。	挨拶、時間、TPOをわきまえた言葉遣いなど教員・生徒が考える当たり前のことについて指導を徹底する。PTAが週一回、生徒が毎日あいさつ運動を行う回実施する。	

<b>重点的な取組事項－3</b>		教師の指導力向上と信頼される学校作り			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
教師の指導力向上と信頼される学校作り		アンケートで、80%以上の保護者が「子どもを伊興中に入れてよかったと思う」と答える。	<b>自己評価の際に記入</b>		
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>

教師の学習指導力の向上	「教え方や学び方に工夫をしてくれている」「めあてや振り返りの時間がある」と80%以上の生徒が答える。	全教員が年5回以上の授業研究に参加する。授業見学期間を設定し、「主体的・対話的で深い学び」や「ICT活用」を意図した授業を見学しあう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>自己評価の際に記入</b> </div>
教職員集団の育成と組織力の向上	教育活動や対外的な対応に、保護者へのアンケートで80%以上が満足していると回答する。	組織内での報告・連絡・相談・確認を徹底する。管理職・主幹教諭・主任教諭による若手教師の育成を計画的に実施する。	
保護者、開かれた学校づくり協議会、地域と協働した信頼される学校作りとの協働	「学校は保護者や地域と一体になって教育活動を行っている」と保護者の80%が回答する。	開かれた学校づくり協議会・PTA・地域共同推進事業等を行い、学校・PTA・地域との連携を図る。各種たよりを定期的に発行する。保護者会、教育相談、協議会を計画的に実施する。	

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

**自己評価の際に記入**